

令和元年度 佐久地区賛助会総会

日 時 令和元年 5月30日 (木)
 於 佐久水道企業団 2階大会議室

去る5月30日、佐久水道企業団2階大会議室において、佐久地区賛助会総会が多数の会員の参加のもと開催されました。

今回は、佐久合同庁舎が耐震工事中ということで講堂を使用できず、佐久水道企業団の大会議室を借用しての開催となり、スペース上の問題もあり、長野県議会議員・近隣市町村のご来賓の皆様にはご案内をせず賛助会関係者だけで開催致しました。

総会の進行を務める伴野秀子副会長の開会宣言に続き、加藤豊久会長の主催者挨拶、唐沢忍佐久支部長挨拶の後、議事にはいりました。



□ 加藤 豊久 会長 挨拶 (概要)



皆さん、こんにちは。

お忙しい中を賛助会の総会・研修会にご出席いただき、ありがとうございます。

皆さん、お気づきのことと思いますが、総会の様子が昨年までとずいぶん変わっています。場所が変わったことが第一、次に来賓の方々が誰もいないこと。今年はお招きしませんでした。

大体、「総会」と名の付く会は形式的で堅苦しいもので、人気がありませんでしたが、最近、大きな会社の株主総会には大勢の株主が集まるようになりました。

総会で決めなければならないことが変わったのではありませんが、株主を引き付けるアイデア（懇親会やお土産など）が盛り込まれています。

佐久地区賛助会はそのようなお金のかかることはできませんが、会員だけの会にすることにより、気楽に素直に意見や日頃感じていることを言える総会にしたいと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

□ 唐 沢 忍 佐久支部長 挨拶 (概 要)



賛助会制度は、長寿社会開発センターが目標として掲げる「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」という趣旨に賛同した皆様が会員となり、地域を元気にする活動に取り組まれている、長野県独自の制度です。佐久地区の皆様には、日頃から、文化・スポーツなど、様々な分野での活動を展開され、地域福祉の充実や地域の活性化に貢献いただいていることに敬意と感謝を申し上げます。

長野県は、全国トップレベルの健康長寿県ですが、賛助会に代表されるような、シニアの皆さんの活発な社会参加活動もその一つの要因と考えられます。

昨年、県が策定した長野県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」では、シニアの皆さんが知識や経験を生かして元気に活躍できる「人生二毛作社会」の実現に取り組むこととしています。

去る5月10日に阿部知事が移動知事室で佐久に来られ、シニア大学の学生の皆さんと意見交換をした際には、このプランの基本コンセプトである「学びと自治」について、阿部知事からお話がありました。“長野県は教育県と言われてきましたが、大人になっても学びたいと思っている人が多くいます。また、小さな町や村が多くあり、自治の基盤が強く残っています。「学びと自治の力」は、長野県のDNAであり、これからの社会を作るには、県民一人ひとりが主体的に学び、それを自分自身の中に留めるのではなく、社会のために役立てていただきたい”とのことでした。

賛助会の皆様は、シニア大学など様々な場所で学ばれ、その学びで得たものを賛助会活動を通じ、地域のために役立てられており、「学びと自治」を実践されているのが皆様ではないかと思います。

今後とも、お仲間や地域の皆様とのつながりを大切に、ご自身が楽しみながら、活動を続けていただきますことをご期待申し上げます。

□ 議事概要

議長に 菊池 勉 さん、副議長に 高野 しな子 さんが選出され、下記議案の審議が行われ、満場一致で可決承認されました。



第1号議案

平成30年度 佐久地区賛助会事業報告

第2号議案

平成30年度 佐久地区賛助会決算及び監査報告

第3号議案

令和元年度 佐久地区賛助会事業計画

第4号議案

令和元年度 佐久地区賛助会予算

第5号議案

令和元年度 佐久地区賛助会役員補選

(1) 第1号議案報告

賛助会員数（平成31年3月31日現在）

- ・個人会員 :387名（対前年45名減）
- ・法人会員 :4団体（対前年1団体増）
- ・活動グループ数 :24グループ（対前年4グループ減）

(2) 第3号議案報告

加藤会長報告概要

『県内の賛助会員数の減少傾向が続いています。

当会も2月から5月にかけて巨大な波に見舞われました。9つの活動グループが解散、または退会されました。それぞれ事情があり、解散や退会に踏み切られたと思いますが、「賛助会は何もしてくれない」、「賛助会に入っても意味ない」といった声も聞かれました。このような不満に対処すべく、川村前会長の時から、「ウサギと亀の運動会」が企画されたり、昨年はシニア大生との合同ハイキングも実行されました。また、活性化委員会をスタートさせるには至りませんでした。グループに入っていないでも満足できるような賛助会にしていこうをモットーに、“賛助会Day!”を新たに企画しました。

また、活動発表会をさらに魅力あるものにするために、他の地区の賛助会の人たちとの交流を活性化させたいと思います。

以上、説明してきましたが、皆さんにお願いしたいことがあります。

「賛助会は何をしてくれるの?」という質問を時々いただきますが、賛助会は、スーパーやコンビニのように皆さんの外にあるものではなく、皆さんの中にあり、皆さんが作っていくものです。

役員だけでアイデアを考えても限りがあります。是非、「こんなことをしたい」「こういう会を作りたい」といったアイデアを皆さんから出していただきたい。その際には、現在の計画に盛り込まれていないことでも、実現していきたいと思えます。こういったことも予めご了承いただきたいと思えます。』

(a) 【新設】 “ 賛助会Day!”

賛助会活動をより活発にすることを目的とし、“ 賛助会Day!”を新設し、各活動グループにとらわれない賛助会全体としての取組みを実施します。

- 第1回 写経を楽しもう! 6月27日(木)実施済。桂霽寺(佐久穂町)
- 第2回 坐禅と茶道を楽しもう! 8月開催予定
- 第3回 ニュースポーツ体験教室 12月開催予定
- 第4回 神社仏閣を訪ねよう! 令和2年3月開催予定

(b) 開催予定事業(7月以降開催分抜粋)

◎ “子どもわくわくフェスタ” (支部、佐久市子ども未来館と連携)

- ・日 時 8月6日(火)、7日(水)
- ・場 所 佐久市子ども未来館(佐久市岩村田)

◎2019 信州ねんりんピック開会式参加バスツアー <文化・芸術交流大会>

- ・日 時 9月21日(土)
- ・会 場 飯山市文化交流館 なちゅら

◎ “ウサギと亀の運動会” : 10月24日(木)。佐久創造館

◎ 佐久地区賛助会員 活動発表会 : 11月21日(木)。佐久合同庁舎

(3) 第5号議案

上原 くに子さんの後任として、井出 陽子さん(さわやか民舞会)が監事に選出されました。

□ 新グループ紹介

新たに入会された2つのグループからグループ紹介がありました。

| グループ No. | グループ名 | A会員数 | 活動内容 |
|----------|-----------|------|--------------------------------|
| 1086 | 歴史街道を歩こう会 | 5名 | 地域の歴史街道ウォークを通じて、健康維持と仲間づくりを行う。 |
| 1087 | わたすげ | 6名 | 生きがいつくりと健康づくりを進め、社会参加活動を実践する。 |

佐久地区賛助会 研修会

賛助会総会終了後、佐久市臼田、「橘倉酒造株式会社」社長 井出 民夫 様を講師にお招きし、「13酒蔵を創り出した佐久地域の特色について」と題して、ご講演をいただきました。



“世界中、古い文明には必ず美しい酒がある”
(坂口謹一郎)

“白玉の齒にしみとほる秋の夜の
酒は静かにこのむべかりけり”
(若山牧水)

という言葉や短歌に表されているように、「佐久の地は文化水準が高いと思われる」という話から始まり、13の酒蔵が現存しているこの佐久地方の特色についてお話をお聴きました。

- ・ 気候風土からみると、佐久は寒冷地であり、特に冬は寒く、酒造りに適している。使っている水は、高い山からでてくる軟水であり、橘倉でも井戸水を使っている。地元の米も日本酒に適している。
- ・ 日本酒は自然の賜物であり、麹菌と酵母菌という微生物の働きによるところが大きい。発酵という自然界のなりわいを有効活用している。
- ・ 今、食の工業化が進んでいるが理屈だけではいい酒にならない。世の中には感性がものをいう物が沢山ある。酒蔵には、その蔵特有の酵母菌が住んでいる。杜氏の流儀もある。
- ・ 是非、地酒の味を楽しんでほしい。佐久の酒は、芳醇で甘口。これはあの蔵の酒だと言えるように味わってほしい。
- ・ 美味しく、健康的に飲んでほしい。麹の酵素により、血行がよくなり、肌や健康に効果的である。
- ・ 酒造会社は地域の中にある地場産業である。これからも、地域と共に酒を造っていく。そして、この地の文化を守っていきたい。

(講演のなかの一部ですが、佐久地域の文化も支えているとまで言える伝統ある造り酒屋のトップの方のお話に深い感銘を受けました。有難うございました。 広報委員)

佐久地区賛助会とシニア大学1・2学年 合同ハイキング

賛助会員とシニア大生との交流を深めることを目的とした合同ハイキングを昨年度に続き、開催しました。

- 日 時 : 令和元年6月20日(木) 9時30分～12時
- コース : 虚空蔵山自然のみち (石仏ショートコース)
- 参加者数 : 44名(賛助会員/8名 シニア大2年生/6名 シニア大1年生/30名)



天候は正にクリアースカイ！！

暑からず寒からずの素晴らしいハイキング日和でした。

コース途中のお寺の前で記念写真を撮り、頂上には1時間20分位で全員が登り切りました。

素晴らしい眺めで、“オーツ”、“ワーツ スゴイ”、“ヤッホー”という声が響いていました。

水分補給後、自己紹介を行い、伴野副会長の掛け声により皆でナツメロを歌い、また、頂上回りを管理されている方から説明を聞きました。

帰り道では参加者から、下記のような意見を聞くことができました。

- ・ 賛助会の行事など、シニア大学の入学式の時に説明してほしい。
- ・ 賛助会 Dayがあれば、無理にグループに入らなくてもいいね。
- ・ 来年も開催してほしい

交流を深め、全員が無事下山することが出来ました。よかったです。

来年も企画してみたいかなと思います。

(中田副会長 記)

第1回 賛助会 Day! 『写経を楽しもう』

“ 賛助会 Day! ” は佐久地区賛助会の今年度の目玉として、会員の皆さんが活動グループの枠から離れ、賛助会全体で活動できる環境を作ろうと企画され、総会で開催承認されました。

その第1回として、『 写経を楽しもう 』 が開催されました。

- 日 時 : 6月27日(木) 9時30分～12時
- 会 場 : 曹洞宗 少林山 桂霄寺(佐久穂町)
- 参加者 : 18名(賛助会員/12名 シニア大生他/6名)



今回の企画は、桂霄寺が菩提寺である関 次郎さん（絆塾）にご尽力いただいて実現し、当日は9時30分から、本堂にて住職のお話のあと坐禅をくみ、10時から、衆寮にて写経に取り組みました。

第1回の“ 賛助会 Day! ”を終え、関さんにお話をうかがいました。

「 シニア大学を卒業し賛助会に加入して、早や3年が経ちました。ボランティア見本市、ウサギと亀の運動会、歴史講座、落語を楽しもう、などに参加しました。このうち、落語は絆塾が主催し、大勢の皆さんにお越し頂き嬉しかったです。

さて、定年も65才まで延長された職場も多くなり、シニア大学の入学者も減員となっているとか、賛助会の加入者も減り、退会したグループもいくつかあることをお聞きしました。

役員会としては対策として、諏訪地区などの先進地視察、運動会やハイキングの企画を1昨年からは実施されたとのこと、感謝する次第です。

さらに今年は“ 賛助会 Day! ”が新設されました。写経、坐禅と茶道、ポッチャなどのニュースポーツ、神社・仏閣の見学、などです。

会員の中には、自分の持っていない叡智を持っておられる方々が多く、話せば話すほど離れがたい昨今です。互いに特技を出し合い、明るい社会を築く“ 種 ”を蒔く人となりましょう。」

令和元年度の“ 賛助会 Day! ”は、今後、3回予定しています。

多くの方に参加いただき、賛助会活動の活性化を図りたいと思います。

長野県長寿社会開発センター地区賛助会連絡協議会

令和元年度の第1回地区賛助会連絡協議会が開催され、佐久地区からは、加藤地区賛助会長、唐沢支部長、曾田社会活動推進員が出席しました。

- ・ 日 時：6月20日（木） 10時45分～15時00分 ・ 会 場：長野県社会福祉総合センター
- ・ 会議内容要約

1) 賛助会員数：全県合計 2,554名(平成元年5月31日。ピーク時7,612名(平成15年))

2) 賛助会制度について

賛助会はセンターの活動趣旨や事業に賛同する人たちの集まりで、会員はパートナーとして、センターの事業推進を支援することが期待されている。グループ活動を実施しているグループに対して、活動資金を交付している点は当賛助会の特徴。

3) 他の組織・団体と活動内容が重なっている部分も多いことから、特長を押し出すことや、シニア大学からのさらなる加入促進策の実行等が活性化には必要との意見が寄せられました。